

広島のワクワクを創造する



**広島電鉄**

# 2026年3月期 決算説明資料

2026年5月14日

広島電鉄株式会社

証券コード：9033

# 2026年3月期 連結経営成績



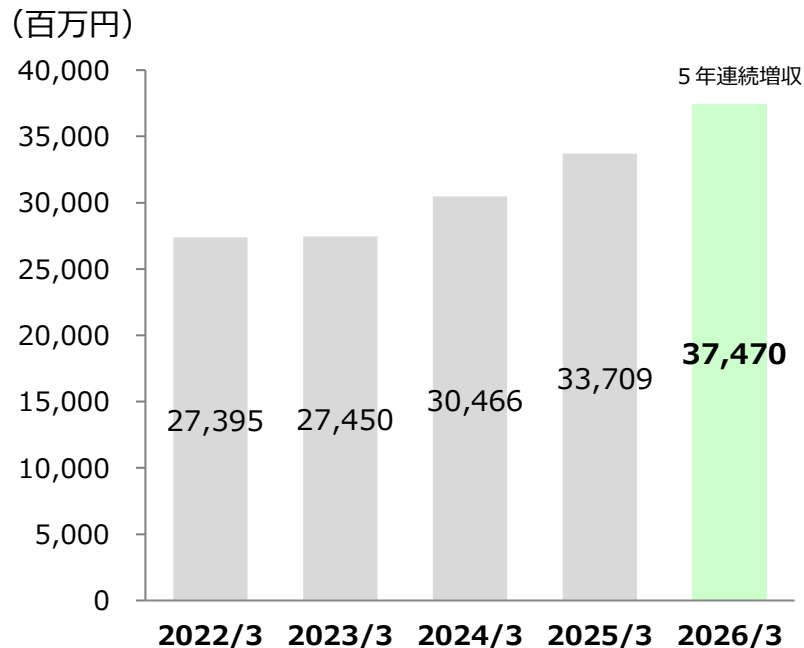
(百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減 (%)	主な増減要因
売上高	33,709	<b>37,470</b>	+3,761 (+11.2)	来広するインバウンド客や国内旅行客の増加に加え、2025年2月に実施の運賃改定の影響で、運輸業・観光関連業の収益が堅調に推移し、新路線である「広島駅前大橋ルート」の開業、不動産事業では「ザ・広島フロント」の物件引き渡しにより増収
営業利益	△1,419	△ <b>290</b>	+1,129 (-)	人件費や経費、減価償却費の増加が影響し、営業損失・経常損失を計上
経常利益	△1,243	△ <b>129</b>	+1,114 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,379	<b>1,158</b>	△220 (△16.0)	特別損益は、前年度より「運行補助金」が増加したが、「減損損失」や「投資有価証券評価損」が増加したことにより減少
1株当たり 当期純利益	45.42円	<b>38.14円</b>	-7.28円	

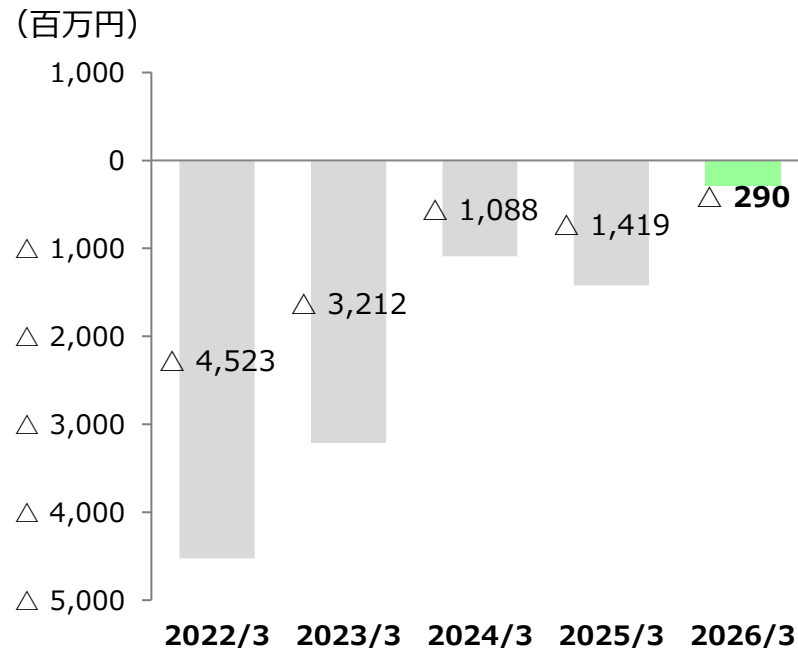
# 連結業績の推移（営業収益・営業利益）



## 営業収益



## 営業利益

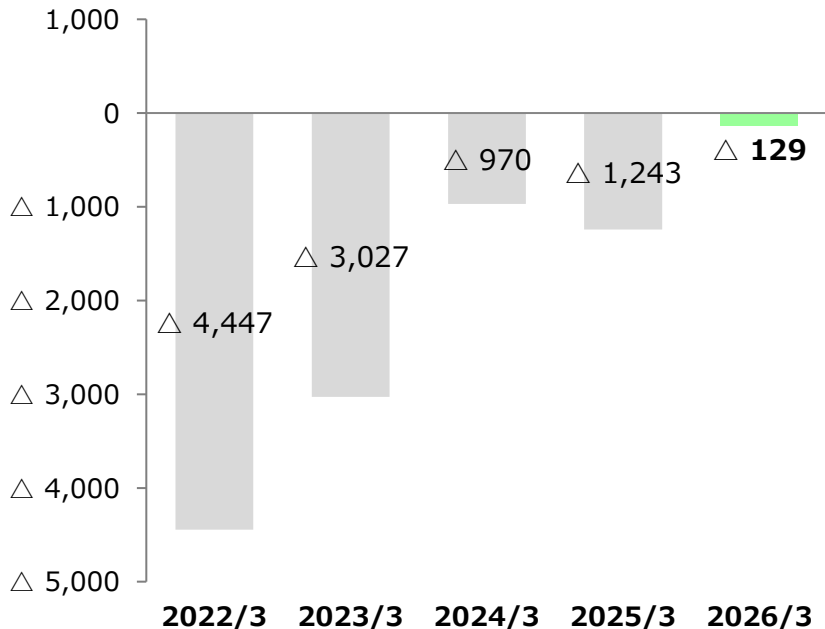


# 連結業績の推移（経常利益・当期純利益）



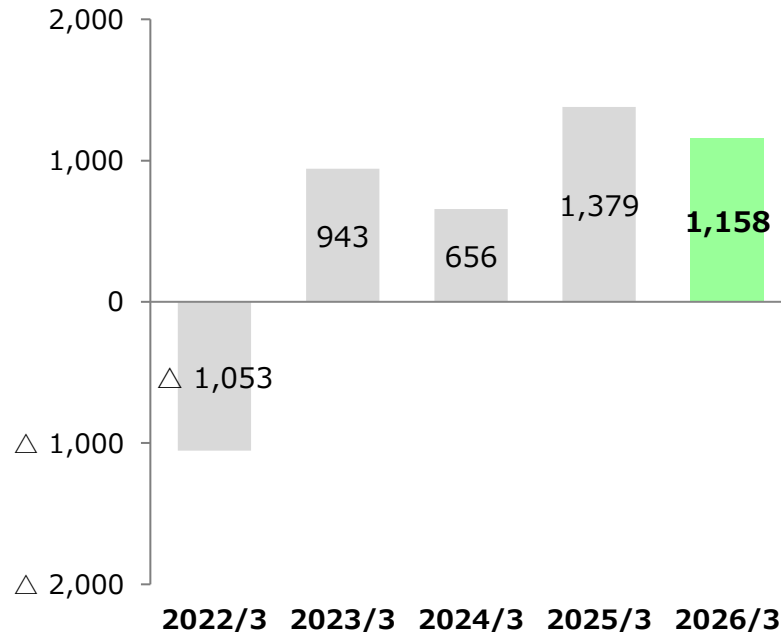
## 経常利益

(百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



# 連結貸借対照表(B/S)



(百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減	主な増減要因
流動資産	16,444	17,734	+1,290	受取手形、売掛金及び契約資産+972 現金及び預金△779 販売土地及び建物+289 その他 +636
固定資産	87,637	90,987	+3,350	有形固定資産（建物及び構築物+2,194 土地+2,071 建設 仮勘定△4,366） 投資有価証券+1,954 退職給付に係る資産+421
資産合計	<b>104,082</b>	<b>108,722</b>	+4,640	
流動負債	31,919	29,987	△1,932	支払手形及び買掛金 +681 短期借入金+1,434 未 払金△4,083
固定負債	29,400	33,211	+3,811	長期借入金 +2,365 繰延税金負債+1,472
負債合計	<b>61,319</b>	<b>63,199</b>	+1,879	
株主資本	16,867	17,882	+1,015	利益剰余金の増加
その他の包括利益累計額	24,852	26,490	+1,637	その他有価証券評価差額金 +1,465
非支配株主持分	1,041	1,150	+108	
純資産合計	<b>42,762</b>	<b>45,523</b>	+2,760	
負債純資産合計	<b>104,082</b>	<b>108,722</b>	+4,640	

# 連結損益計算書 (P/L)



	2025/3期	2026/3期	増減	主な増減要因	(百万円)
営業収益	33,709	37,470	+3,761	運輸業+2,238 不動産業+955	
運輸業等営業費及び売上原価	28,538	31,102	+2,564	人件費+473 経費+769 諸税+66	
販売費及び一般管理費	6,590	6,658	+67	減価償却費+563 売上原価+759	
営業損失(△)	△1,419	△290	+1,129		
営業外収益	460	510	+49	受取配当金+63	
営業外費用	284	349	+64	支払利息+73	
経常損失(△)	△1,243	△129	+1,114		
特別利益	4,137	6,406	+2,268	工事負担金等受入額+2,144 運行補助金+205 退職給付制度改定益△207	
特別損失	1,767	4,843	+3,076	固定資産圧縮損+2,139 減損損失+643 投資有価証券評価損+160	
税金等調整前当期純利益	1,126	1,433	+307		
法人税・住民税及び事業税	114	192	+77		
法人税等調整額	△467	△43	+423	前期に将来減算一時差異に係る繰延税金資産計上	
当期純利益	1,478	1,284	△194		
非支配株主に帰属する当期純利益	99	125	+26		
親会社株主に帰属する当期純利益	1,379	1,158	△220		

# 連結キャッシュ・フロー(C/F)



(百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,077	<b>1,714</b>	△3,363	広島駅南口広場の再整備受託工事にかかる「未払金」の支払が影響
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,568	△ <b>4,307</b>	+1,261	広島駅南口広場再整備の進捗による設備投資支出が影響
財務活動によるキャッシュ・フロー	604	<b>1,776</b>	+1,172	大型設備投資の増加等による有利子負債の増加
現金及び現金同等物の増減額	113	△ <b>816</b>	△929	
現金及び現金同等物の期首残高	3,906	<b>4,019</b>	+113	
現金及び現金同等物の期末残高	4,019	<b>3,202</b>	△816	

# セグメント別経営成績①運輸業



(百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	21,008	<b>23,247</b>	+2,238 (+10.7)	鉄軌道事業・自動車事業では、「駅前大橋ルート」の開業や被爆80年に伴う来広者の増加等による移動需要の活発化、さらに2025年2月の運賃改定により <b>増収</b> 海上運送業・索道業では、2025年度の宮島来島者数が過去最多となり、特にインバウンド客の増加が寄与し、 <b>増収</b>
セグメント利益	△3,110	△ <b>2,739</b>	+370 (-)	人件費や経費、減価償却費の増加により、運行補助金を含めた損益は <b>損失</b> を計上
運行補助金	2,192	<b>2,397</b>	+205 (+9.3)	
運行補助金を含めた損益	△918	△ <b>341</b>	+576 (-)	

# セグメント別経営成績②流通業



(百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,191	<b>1,237</b>	+45 (+3.9)	山陽自動車道の宮島サービスエリアにおいて、年間を通じて 高速道路の交通量とともに来店者も増加し、 <b>増収増益</b>
セグメント利益	4	<b>11</b>	+6 (+145.4)	

# セグメント別経営成績③不動産業



(百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	5,337	<b>6,292</b>	+955 (+17.9)	不動産賃貸業では、「イオンタウン楽々園」の土地の賃貸収入を通期で計上し、不動産販売業では、分譲マンション「ザ・広島フロント」の物件引渡し等により、 <b>増収増益</b>
セグメント利益	1,584	<b>2,172</b>	+588 (+37.2)	

# セグメント別経営成績④建設業



(百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	7,389	<b>6,816</b>	△572 (△7.8)	民間の建築工事の受注が減少したことにより、 <b>減収減益</b>
セグメント利益	245	<b>235</b>	△9 (△4.0)	

# セグメント別経営成績⑤レジャー・サービス業



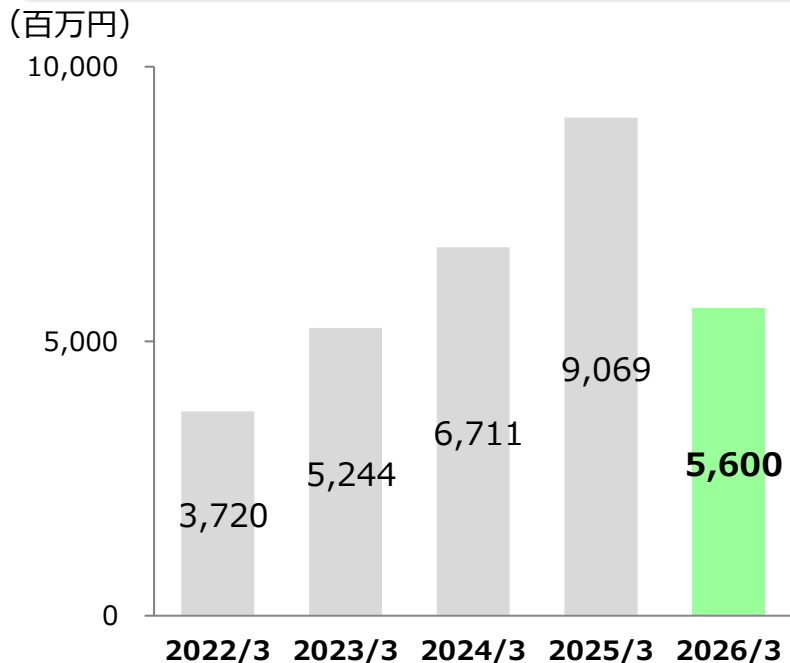
(百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	865	<b>876</b>	+11 (+1.3)	ボウリング業のプレー料金の改定を行ったことや、ゴルフ練習場にて弾道測定器の新機種導入等が寄与し、 <b>増収増益</b>
セグメント利益	△73	△ <b>26</b>	+46 (-)	

# 設備投資の状況（連結）



## 設備投資額の推移



## 主な設備投資実績（2026年3月期）

(百万円)

広島駅前大橋ルート・循環線整備		981
電車運行管理装置		824
自動車事業用車両	30両	929
超低床車両型路面電車	1編成	605
獅子岩駅線搬器更新		252
MOBIRY DAYS改修		500

# 2027年3月期 主な設備投資予定 (連結)



## 主な設備投資予定 (2027年3月期)

		(百万円)
5200形グリーンムーバーAPEX	1編成	605
自動車事業用車両	33両	768
「MOBIRY DAYS」交通系ICカードおよびWAON対応		75
賃貸収益物件		600
船舶 (観光クルーザー)		70



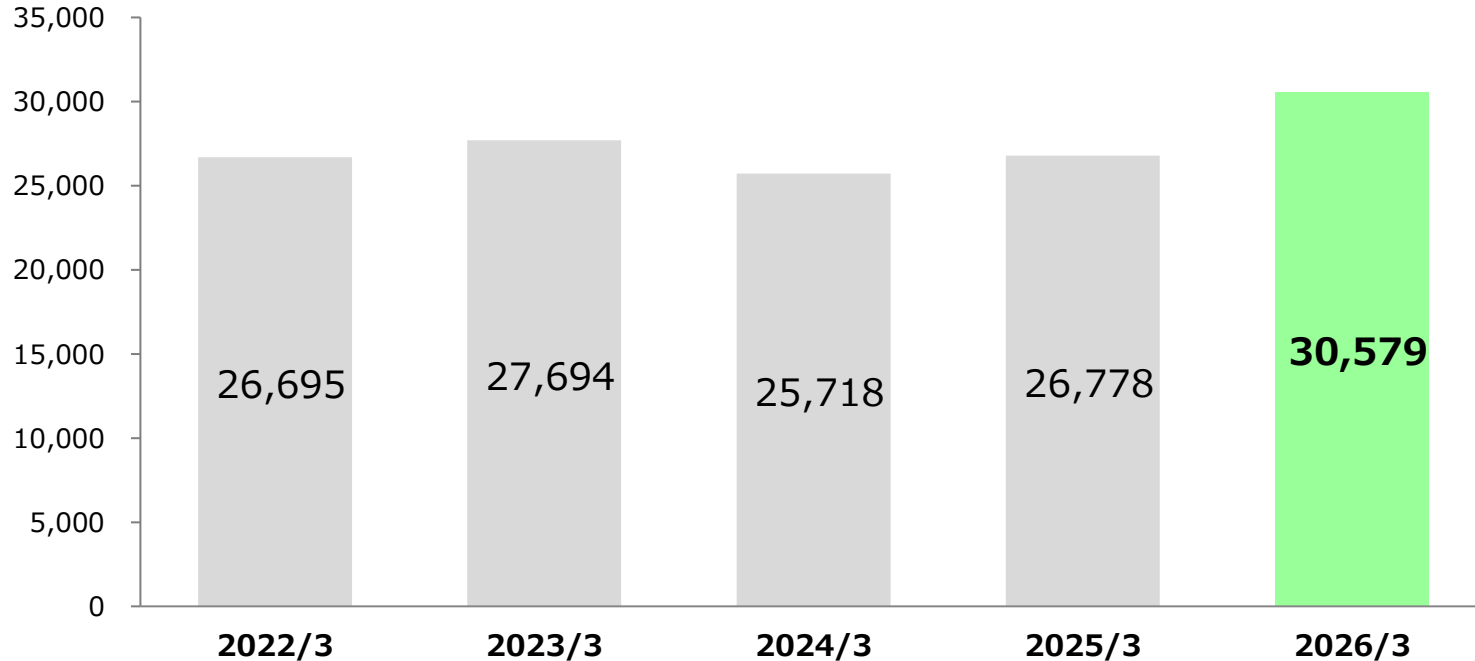
▲「MOBIRY DAYS」交通系ICカードおよびWAON対応 (2026年7月1日予定)

# 有利子負債の状況（連結）



(百万円)

有利子負債の推移



# 2027年3月期 連結通期業績予想



(百万円)

	2026年 3月期実績	今回予想	増減 (%)	主な増減要因
売上高	37,470	<b>40,880</b>	+3,409 (+9.1)	運輸業において、広島駅前ルート開業効果が続き、バス運行補助金の科目変更もあることから増収を見込む。レジャー・サービス業は株式会社A&Cが連結子会社に加わることで、増収を見込む。
営業利益	△290	<b>810</b>	+1,100 (-)	費用面では、人件費や、設備投資の進捗に伴う減価償却費の増加のほか、資源価格の上昇の影響や金利上昇に伴う支払利息の増加を見込む。
経常利益	△129	<b>870</b>	+999 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,158	<b>1,000</b>	△158 (△13.7)	特別損失において、減損損失、投資有価証券評価損が減少するものの、当期純利益は減益を見込む。

# 連結業績予想の前提条件



## 翌期の見通し(セグメント別)

セグメント	対前年 入 比	備考
運輸業	+8%	広島駅前ルート開業効果が続き、バス運行補助金の科目変更もあることから増収も、損失計上を想定
流通業	+0%	前年並みを想定
不動産業	△14%	前期に計上した大型販売物件がないため、減収減益を想定
建設業	+11%	民間の建築工事受注の増加に伴い増収となるものの、資材高等の影響もあり前年並みの利益を想定
レジャー・サービス業	+193%	ボウリング業の営業終了があるものの、(株)A&Cがグループに加わることで、増収増益を想定

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

広島電鉄株式会社

経営管理本部 経理部 経理グループ

TEL 082-242-3542